取扱説明書 簡易取り付け型 保管用

丸型蛍光ランプ・シーリングライト
（天井付け専用型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

※インバータ照明器具の近くでは、他の電気製品の赤外線式リモコンが動作しなくなる場合が、ごくまれにありますのでご注意ください。

■仕 様

タイプ	適合ランプ	本数	使用電圧/周波数	消費電力	使用畳数
76Wタイプ	FHC34E, FHC20E, 各タイプ	各1本	AC100V	69W	6～8畳
86Wタイプ	FHC34E, FHC27E, 各タイプ	各1本	50Hz/60Hz共用	79W	8～10畳

※豆球（各タイプ共通）：E12ナツメ球　AC100V5W…1個

この取扱説明書のマークについて

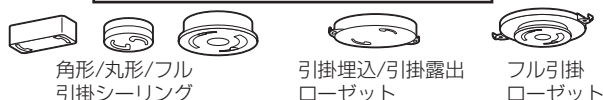
⚠**警 告**　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠**注 意**　説明書中の「注意」は、物損及び傷害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取付・取扱の注意

すぐ取付けられます

角形/丸形/フル引掛シーリング

引掛埋込/引掛露出ローゼット

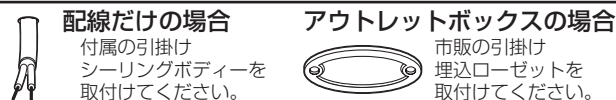
フル引掛ローゼット

配線器具の取付工事が必要です（電気店・工事店へ依頼してください。）

配線だけの場合
付属の引掛けシーリングボディーを取付けてください。

アウトレットボックスの場合

市販の引掛け埋込ローゼットを取付けてください。

⚠警告

破損しているもの　ガタつくもの

⃠ 破損したりガタついている配線器具には取付けないでください。
配線器具を取替えてから器具を取付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

⃠ 樹脂製ボックスカバーには取付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。

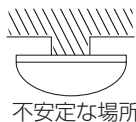
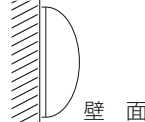
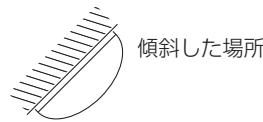
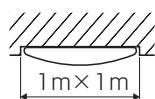
❗ 付属の引掛けシーリングボディーの取付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。　**★一般の方の工事は法律で禁止されています。**

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⃠ 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 次のような場所には取付けないでください。　**★器具の落下事故によるけがの原因になります。**

ケースウェイにセットされている配線器具

不安定な場所

壁　面

傾斜した場所

❗ 器具の取り付けには、配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。

⚠注意

❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発熱や発火の原因となります。

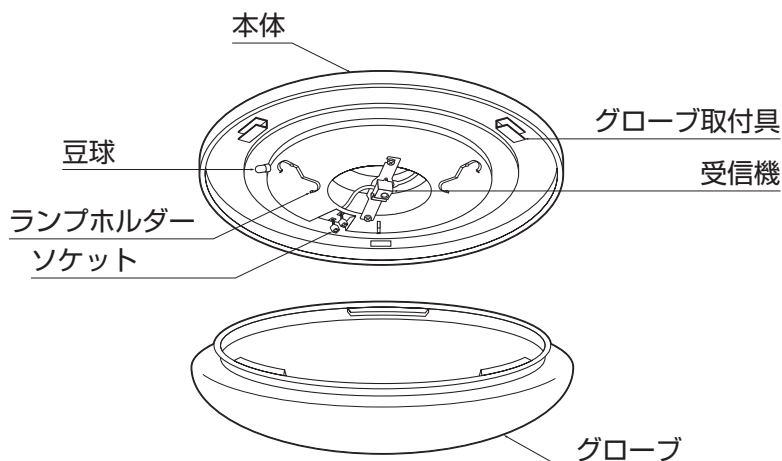
⃠ 調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯(チラつきや立ち消えなど)や調光器、照明器具の故障の原因となります。

⃠ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★器具やカバーの変形や火災の原因となります。

⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

⃠ ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

各部の名称
(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】

●リモコン送信機(TG-284/TG-298)対応機種
※リモコン送信機は別売です。

【付属品】

角形引掛け
シーリングボディー・・・・1個

木ネジ
(シーリングボディ用)・・・2本

アダプタ・・・・・・・・・・1個

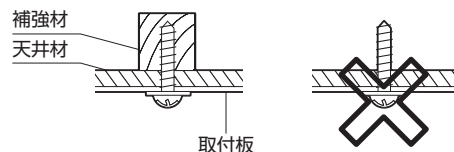
丸形蛍光ランプ
76Wタイプ FHC 20E FHC 34E 各1本
86Wタイプ FHC 27E FHC 34E 各1本

豆球 5W・・・・・・・・・・1個

取扱説明書(本書)・・・・・1枚
保証とアフターサービスについて(別紙)・・・・・・・1枚

取付場所の確認
※インバータ照明器具の近くでは、他の電気製品の赤外線式リモコン動作しなくなる場合が、ごくまれにありますのでご注意ください。

⚠警告
取付金具は、必ず補強材のある場所に取付けてください。
★補強剤のない場所に取付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

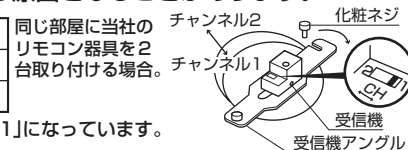
⚠注意
建物の構造によっては、付属の木ネジでは取付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取付場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取付けてください。

取付方
⚠注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告
器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

■取付ける前に
①リモコン送信機(別売)をお使いになる場合は、リモコン受信チャンネルを設定します。
②化粧ネジを緩め、受信機アングルの片側をはずします。

器　具	本体側	送信機側
1台目	1	1
2台目	2	2

同じ部屋に当社のリモコン器具を2台取り付ける場合。

※リモコンのチャンネルは、工場出荷時には「1」になっています。

1. アダプタのセット

①天井の配線器具を確認する
※ローゼットの耳部にネジが付いている場合は、ネジをはずしてから器具を取付けてください。

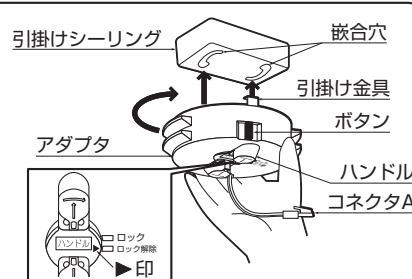
②アダプタを天井に取付ける
アダプタの引掛け金具を引掛けシーリングの嵌合穴に差し込み、右にカチッと鳴るまで回してください。(天井側のソケットによっては取付かない場合があります。)ハンドルの▶印を「ロック解除」の位置(赤色)に合わせてください。

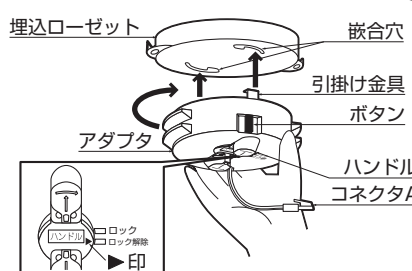
取付後、ボタンを押さずに左へ回してはずれないことを確認する

2Aへ

引掛け埋込ローゼット

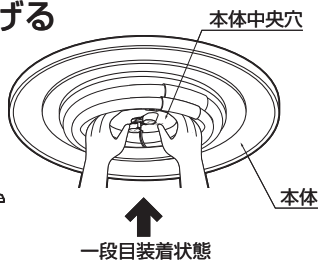
耳部

①天井の配線器具を確認する
※ローゼットの耳部にネジが付いている場合は、ネジをはずしてから器具を取付けてください。

②アダプタを天井に取付ける
アダプタの引掛け金具を埋込ローゼットの嵌合穴に差し込み、右にカチッと鳴るまで回してください。(天井側のソケットによっては取付かない場合があります。)ハンドルの▶印を「ロック解除」の位置(赤色)に合わせてください。

取付後、ボタンを押さずに左へ回してはずれないことを確認する

2Bへ

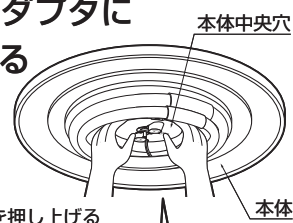
2A. 器具の本体中央穴をアダプタに合わせ 2回 押し上げる

①本体を軽く押し上げアダプタ(一段目のツメ)に仮止めする。

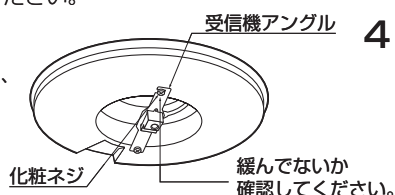
本体がグラついています。

②さらに2段目のツメに引掛かってカチッと鳴るまで強く押し上げてください。

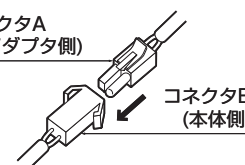
※本体のグラツキがなくなったことを確認してください。

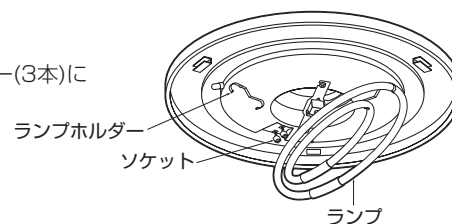
2B. 器具の本体中央穴をアダプタに合わせ 1回 押し上げる

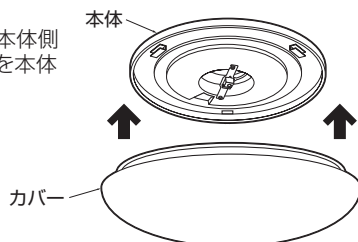
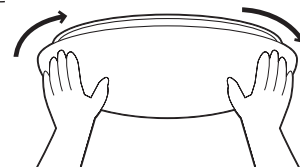
①本体を一段目のツメに引掛かってカチッと鳴るまで強く押し上げてください。
※本体のグラツキがなくなったことを確認してください。

ハンドルの▶印を「ロック」の位置(青色)に合わせてください。

3. 本体の取付

受信機アングルを戻し、化粧ネジを締め込んで固定します。

4. コネクターを接続する

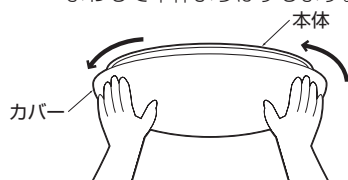
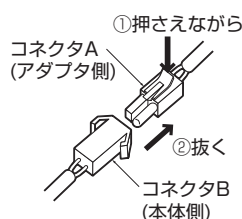
コネクタBの丸穴と角穴をそれぞれコネクタAの丸穴と角穴に差し込んでください。
※取付後、引張って抜けないことを確認してください。

5. ランプの取付

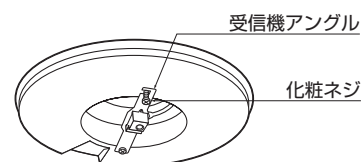
①ランプマークが下になるようにソケットを根元まで確実に差し込んだ後、ランプホルダー(3本)に引掛けてください。※この時必ず両手で作業を行ってください。
②豆球が確実に取付いていることを確認してください。
ランプをセットした後、点灯の確認をしてください。

6. カバーのセット

①カバー内側の▲印(赤色)と本体側の▲印を合わせて、カバーを本体にかぶせます。

②カバーを本体に押しつけながら右に「カチッ」と止まるまでまわします。

器具のはずし方

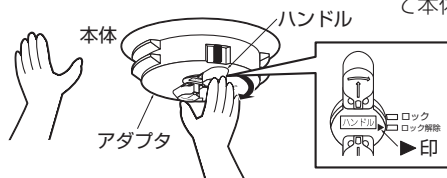
※必ず電源スイッチを切ってください。
※消灯直後はランプや本体が高温になっています。冷えてからはずしてください。

1. カバーをはずす

カバーを左方向(反時計まわり)にまわして本体よりはずします。

2. コネクタをはずす

3. 受信機アングルの片側をはずす

化粧ネジを緩め、受信機アングルを回転させる。

4. 本体をはずす

①ハンドルの▶印を「ロック解除」の位置(赤色)に合わせてください。

②必ず片手で本体を支えながらもう一方の手でハンドルを右にまわして本体をはずします。

注意 必ず片手で本体を支えてください。器具の落下事故の原因となります。

5. アダプタをはずす

ボタンを押しながら左にまわしてアダプタをはずします。

注意 ボタンを押さずに強くまわすと破損します。

スイッチ操作

●プルレススイッチ

プルレススイッチ 機能 …… この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。器具本体内蔵のマイコンが1秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」を働かせます。

※壁スイッチをOFFする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチを再びONにすると全光点灯になります。

〈ご注意〉
1個の壁スイッチで2台以上の プルレススイッチ 機能搭載器具を操作することはお避けください。同時に切り替わらない場合があります。

●リモコンスイッチ

1. 壁スイッチを「ON」にします。
2. リモコン送信機と受信機のチャンネル番号を確認します。
3. リモコン送信機の点滅ボタンを押して操作します。

※リモコン送信機(別売)の詳しい操作方法については
リモコン送信機の取扱説明書をご覧ください。

※ご使用にあたって

●お出かけの際や長時間使わないときには、壁スイッチを「OFF」にしてください。
★リモコンで消灯し、壁スイッチが「ON」の状態の場合、リモコン待機の電力(約1W)を消費します。
★リモコンで消灯し、壁スイッチが「ON」の状態で停電が起きると、停電が回復したときに、点灯状態になることがあります。

お手入れについて　⚠注意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。　**★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「**■仕様**」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると、不点灯や点灯不良(チラつきや立ち消えなど)の原因となります。また、インバータの異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

1. 壁スイッチを切ります。
2. カバーをはずします。
カバーを左方向(反時計まわり)にまわして本体よりはずします。

3. ランプをはずします。
①ランプホルダー3本からランプをはずします。
②ランプソケットを手で固定しながらランプを抜き取ります。
※ランプソケットを無理に引張らないでください。

4. 新しいランプをセットします。
ランプマークが下になるようにソケットを根元まで確実に差し込んだ後、ランプホルダー(3本)に引掛けてください。
※この時、必ず両手で作業を行ってください。

⚠注意

●ランプは本体の中央に位置する様に確実に取付けてください。ランプの取付はランプマークが下側になる様にランプソケットに差し込んでください。
●ランプの取付はていねいに行って下さい。
★破損・落下の原因になります。

5. カバーを本体にセットします。
『**取付方**』の「**6．カバーのセット**」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名(器具本体のラベルでご確認ください)、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。